

図書館だより

枚方市立図書館通信第55号

枚方市立図書館のホームページでもご案内しています

平成23年7月 枚方市立中央図書館発行

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1(バス停「片鉾・中央図書館」前)

TEL 050-7105-8141 FAX 072-851-0962

中央図書館は毎週金曜・第4火曜休館

各分館は毎週月曜・第3木曜休館

7月にはいり、いよいよ夏到来です。枚方市立図書館では、子どもの読書活動推進の一環として、子どもたちや幅広い市民の方に、図書館と本に親しんでいただくため、さまざまな行事を企画しています。

①「子どものための絵本と音楽の出会いコンサート」

「枚方市こども夢基金活用事業」として、「奏でる絵本・語る音」と題して、絵本と音楽の出会いコンサートを市内9ヶ所の分室で開催します。枚方市演奏家クラブとのコラボで歌と音楽に合わせて、絵本のページをめくって読んでいきます。子どもから大人まで楽しめます。
※要整理券(7月2日より各分室で整理券配布)

②「ひらかた 絵本とおはなし じゅずつなぎ」

7/20(水)から8/25(土)までの期間に、市内で活動するボランティアグループが、各図書館や分室でおはなし会を開催します。内容は、絵本のならべ展や、絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアター、ストーリーテリングなどです。今年は12のグループが開催します。

その他にも、「手作り工作」など盛りだくさん。

詳しくは、各図書館・分室の窓口でお尋ねください。



市史資料室ふちやま話

13 豊臣秀吉の朱印状②

前回紹介した文禄3年(1594年)11月19日付の豊臣秀吉の手紙は、市内の養父周辺にあった石清水八幡宮領を召し上げるのと引き替えに、磯島その他で代替地を与えるという内容でした。

平安時代以来、石清水八幡宮は養父周辺に領地を持っていましたが(『枚方市史』第2巻331頁)、それが消滅した時期はよくわかっていませんでした。また、江戸時代になると、石清水八幡宮は磯島村の一部を支配することもわかっていましたが(『枚方市史』第3巻76頁)、その始まりも不明でした。いずれも、文禄3年の秀吉による領地替えがきっかけと判明します。養父の隣村にあたる宇山には、文禄3年11月9日付の太閤検地帳が残っているので(『枚方市史』第7巻3頁)、付近一帯の検地が完了するとともに、それによって弾き出された土地評価基準に従い、領地替えが行われたこともわかります。

さらにこの直後、秀吉は淀川の大規模な改修工事を行い、いわゆる「文禄堤」を築きました。石清水八幡宮が召し上げられた土地は文禄堤と重なることから、領地替えはその伏線と理解されます。つまり、開発による増産分は全て秀吉の手元に入るというわけです。

図書館の仕事紹介シリーズ その39

参考資料室では、利用者の方々からいろいろな図書に関する質問をお受けしています。その中で、特によく質問をいただくのが枚方や大阪の古い地図についてです。

現在の場所は昔どのような状態であったのか、また近隣はどうなっていたのか？

移りゆく時代を確認するのに、古地図というのは大きな役割を果たすのかもしれませんが。

参考資料室では、枚方市の古地図として、枚方市全図其の一～其の十七(江戸時代)、精密住宅地図枚方市(1965年～)等を所蔵しています。また、関西の古地図として、古版大坂古地図撰一付近江・河絵図など所蔵しております。機会がありましたら、一度ご覧ください。

市史資料室の開室時間

月～金 午前9時30分～午後5時30分

各図書館と分室の7月イベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会
伊坂 幸太郎／著 『グラスホッパー』
➢ 7月16日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室 成人読書会
佐藤 愛子／著 『院長の恋』
➢ 7月22日(金) 午前10時半

○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 7月13, 27日(水)
「0歳のおはなしひろば」 午前10時半
「1歳からのおはなしひろば」 午前11時10分
- 楠葉(図) 「はじめてのえほん」 7月6日(水)
0歳：午前10時半 1歳から：午前11時
- 牧野(図) 「親子で楽しむおはなし会」
➢ 7月20日(水) 午前11時
- さだ(図) 「おはなしいっぱいおはなし会」
➢ 7月20日(水) 午前11時
- 香里ヶ丘(図) 「絵本のひろば」
➢ 7月27日(水) 午前11時

○工作など

- 氷室分室 「七夕かざり」
➢ 7月7日(木)までの開室日 午後1時～4時半
- 釈尊寺分室 「すつてもへらないふしぎなジュース」
➢ 7月13, 14日(水, 木) 午後1時～4時半
- 宮之阪分室 「おばけライト」
➢ 7月21日(木) 午後2時～4時半
- 香里園分室 「たんけんライト」
➢ 7月16日(土) 午後1時～4時
- 東香里分室 「てつぼうぶたさん」
➢ 7月16日(土) 午後1時～4時
- 茄子作分室 「おばけちょうちんのカードをつくろう」
➢ 7月20日(水) 午後1時～4時半
- 藤阪分室 「スライムを作ろう」
➢ 7月23日(土) 午前10時半～正午

○その他

- 香里園分室 「手話の会」
➢ 7月8, 22日(金) 午前10時半～正午
- 藤阪分室 「手話の会」
➢ 7月11, 25日(月) 午前10時～正午

(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)



7月のふれあいルーム(午前10時～午後0時半)

- 中央(図) ばおばお 4, 11, 18, 25日(月)
 - 香里ヶ丘(図) ハートネット 1, 15日(金)
 - さくらんぼ 14, 28日(木)
 - 菅原(図) ぴよんぴよんうさぎ 3, 10, 24, 31日(日)
 - さだ(図) ひよこっこ 7, 14, 28日(木)・22日(金)
 - 御殿山(図) とこ・とこ 1, 15日(金)
 - おひさま 8, 22日(金)
 - 牧野(図) わくわくパンダ 1, 8, 15, 22, 29日(金)
 - 津田(図) きゅーぴーちゃん 6, 13, 20, 27日(水)
 - 楠葉生涯学習市民センター(午前9時半～正午)
あかちゃんたんぽぽのおへや 12, 26日(火)
- 【問い合わせ】子育て支援室 TEL841-1221(代)

ちょっと紹介

『古書修復の愉しみ』

アニー・トレメル・ウィルコックス著 白水社

アメリカの図書館の講座で製本家の教えを受け、古書修復家となった一人の女性の成長の記録である。

古書修復は、時代や地域、状況によりその考え方が大きく違う。かつては表紙や製本方法をも変えてしまつてまるつきり再製本されていることが多かったが、最近はできるだけ作成された年代に合う素材を用いて自然に修復されることも、あるいはまったく手をつけずにそのまま保存に努めることもある。それは、本が物として鑑賞されるだけでなく、読まれることを目的とした存在だからである。特に図書館の本は次の利用のために修復される。著者が師である製本家を敬愛しながらも現在では異なる修復方法を採用することを告白しているくだりは興味深い。

また、手仕事の大切さや技を習得して修業していく姿、師との交流が丁寧に描かれていて読み終わって自分でも何かを作りたくなる一冊である。

